

館山市子ども・子育て支援事業計画第2期計画（案）に対する意見



<p>対象区分</p>	<p>※ 該当する区分に✓をしてください。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 市内に住所がある方</p> <p><input type="checkbox"/> 市内に通勤又は通学をされている方</p> <p><input type="checkbox"/> 市内に事務所又は事業所等がある個人・法人・その他団体</p>
<p>住 所 (または所在地)</p>	<p>館山市上真倉320-2</p>
<p>氏 名 (または団体名・代表者氏名)</p>	<p>石井 敏宏</p>
<p>電話番号 ★任意記入</p>	<p>※ いただいたご意見に対し、お問い合わせさせていただく場合があります。</p> <p>09015575515</p>

【ご意見】

「館山市子ども・子育て支援事業計画（第2期計画）」（案）について

- 計画は令和2年4月からであるが、その頃も簡易給食も続き、簡易給食ではなく弁当持参の子どももいるであろう。まずは、毎日のおかずの充実を図り、弁当作りの負担を軽減すべきではないか。何はともあれ、子ども・子育て分野も復旧が第一である。
- 「地域ぐるみで元気な親子をはぐくむまち たてやま」という理念だが、地域に任せようとして、実際にはさらに地域とのつながりは弱まっていくだろう。「地域ぐるみ」は望ましいこととはいえ、キャッチコピーとして使われる重要理念としては時代情勢に合っていないのではないか。
- 兵庫県明石市のように館山市も子育て支援を最重点政策に位置付けるべきではないか。なお、明石市は子ども・障がい者・要介護者という社会的弱者への人権配慮が理念にあるので、人権重視の理念も見習うべきではないか。
- 子育て支援のより重点化と同時に、財政措置もより優先順位を上げるべきである。
- 計画では保育士不足への対策が弱い。給与アップと多忙化解消を行うなど待遇を改善して保育士の確保に努めるべきではないか。

- 預かり保育・学童保育も含めて、平日の保育時間の延長・土曜日の保育時間の拡充・日祝の保育の導入もした方が良い。
- 子どもの遊び場として北条の中央公園が古びていて寂しい。中央公園の魅力アップを図るべきではないか。
- 子ども医療費であるが、完全無料化にするとコンビニ受診が増えるおそれがある。300円程度の自己負担は必要だ。
- 子ども医療費支援の所得制限であるが、理念としては、子どもへの支援であり、親がどうあれ子どもは無収入なのだから、親の所得に影響を受けるのはおかしい。ただ、財政的な限界があるのもわかる。ゆえに、財政的な影響額を考慮のうえ、できれば所得制限を外せないのか。また、所得制限を外せば、富裕層が転入してくる可能性は高まる。
- 子ども医療費の対象拡充は、高校生の入院費から取り組んではどうか。
- 土日祝・夜間の小児救急医療を強化して欲しい。
- 真夏のスポーツ対応・避難所としての環境上、体育館のエアコン導入にも取り組んで欲しい。
- 館山地区は公立幼稚園が1つ、私立保育園が1つと、保育に弱いエリアではないのか。公立の館山幼稚園でも預かり保育を導入できないのか。
- 幼稚園も3歳が無償化されたのだから、3歳から受け入れを始めるべきである。
- 他自治体の幼稚園では、学年ごとにクラスを分けず、一緒にする例がある。一緒にするのも教育上のメリットがあるのではないか。
- 防災であるが、子どもを守るために、自宅の耐震化・家具の転倒防止も入れるべきでは

ないか。

●教育上の観点から、LGBT等の性的少数者への配慮も計画に入れたほうがいいのではないか。

●児童相談所であるが君津は遠い。ニーズは増えているし、安房（3市1町）にも県に作ってもらうことはできないのか。

●南房総市には、児童相談所のOBらが作った「オレンジの会」というNPO法人がある。児童虐待防止のため、館山市でも同様の民間団体が立ち上がるようにできないのか。または、館山市はこの団体と連携は取れないのか。